

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ



題字 黒野 清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 吉田 節美
幹事 石黒 正則
会報・雑誌委員長 大 口 弘 和

No.12

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998～99年度 RI会長 ジェームスL・レイシー

きょうの例会

第777回 平成10年10月13日(火)

優良従業員表彰

講演

“戦争を知らない世代の方にお伝えしたい終戦秘話”

会員 小坂井 盛雄君

先週の記録

第776回 平成10年10月6日(火)

晴

ガバナー公式訪問

名古屋名東ロータリークラブ合同

18:00～ 鳳凰の間

◆“君が代”

◆“奉仕の理想”

◆黙想 ～職業奉仕～

◆出席報告

会員 72(65)名 出席 52名

出席率 80.00%

前々回 9月22日 (修正出席率) 98.46%

◆ビジター紹介

第2760地区ガバナー 内藤 明人君

東名古屋分区代理 上村 晋也君

第2760地区副幹事 鶴飼 治昭君

◆ビジター数

65名

◆ゲスト紹介

米山奨学生

李 敏華さん

菊池 昭元君、小林 明君、小山 雅弘君、小坂井盛雄君、久野 峯一君、黒野 貞夫君、黒須アイ子さん、松居 敬二君、三輪 康君、宮尾 紘司君、三好 親君、水谷 祥督君、中山 信夫君、西川 豊長君、西野 英樹君、大口 弘和君、尾関 武弘君、鷺谷 龍男君、佐久間良治君、笹野 義春君、鈴木 理之君、竹内 眞三君、舎人 経昭君、魚津 常義君、和田 正敏君、鷺野 義明君、吉田 玄君 今日の佳き日はガバナーの我がクラブの訪問日、ようこそガバナー、お待ちしております。

水野 賀績君 誕生日祝い。結婚記念日祝い。

久保田 皓君 ようこそガバナー、お待ちしております。夫人誕生日祝い。結婚記念日祝い。

鈴木 正男君 暫くご無沙汰をいたしました。結婚記念日祝い。

名古屋名東RC早野会長挨拶



皆様今晩は。

本日は、内藤明人第2760地区ガバナー、上村晋也東名古屋分区代理(ガバナー補佐)、並びに鶴飼治昭地区副幹事をお迎えして、千種クラブ

さんとの合同例会と相成りました。

吉田節美会長はじめ、千種クラブの皆様には、私も本日は大変お世話になることになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

扱て、先般、9月8日には、上村分区代理のご訪問を戴きまして、その際、何か困ったことはありませんかと、優しい言葉をかけていただきましたので、渡りに船とばかりに、会員増強と交換留学生のホストファミリーの受入れ先に難儀をいたしておりますと申し上げましたところ、大変、示唆に富んだお言葉を戴いたところでございます。

ニコボックス

第2760地区ガバナー 内藤 明人君

第2760地区副幹事 鶴飼 治昭君

本日は公式訪問に参りました。宜しくお願い致します。吉田 節美君、石黒 正則君 内藤ガバナー、ようこそおいで下さいました。本日はどうぞ宜しくお願い致します。一昨日のバスケット交流試合では応援ありがとうございました。

山本 英次君 久方の晴間に映える名月よ。

足立 一成君、秋山 茂則君、萩原喜代子さん、堀江 宏輝君、伊豫田博明君、加藤 大豊君、河村 政孝君、

第2760地区 内藤明人ガバナー挨拶



今年度第2760地区ガバナーを仰せつかりました内藤でございます。宜しくお願い致します。

まず最初に、3週間程前に前ガバナーの犬飼さんが突然お亡くなりになりまして、数日のうちは黙祷を捧げていましたが、今日は私の哀悼の言葉でかえさせて頂きます。

いつも笑みをたたえながら、決して相手に嫌な感じを与えず積極的にロータリーの活動に参加されまして特に、今後もロータリークラブの歴史に残る功績としまして、今日こうしてお集まり頂いている2クラブ合同の、RIではニューリーダーシッププランと言いますが、ガバナーが全ロータリーをそれぞれ回りますとかえって疎漏になるのではないかとということで、分区代理さん、ガバナー補佐が前もって各クラブを訪問され資料に基づき、会長、幹事さんと色々話し合い2、3クラブ合同で会合されたらいいんじゃないかとご提案されまして、真っ先に未踏の催しを犬飼さんは実施されました。日本中に34地区34人のガバナーがおりますが、昨年実施しましたのは、僅か4地区でした。RIからもこのやり方については世界の着目される所です。

犬飼さんのご功績に対し、心からご称賛さしあげると共に哀悼の意を表して、大変お疲れ様でした、あちらでごゆっくりとお休み下さいと念じている次第でございます。

ガバナー勉強会が3月にアナハイムにて足掛け10日間、実質8日間毎日トレーニングが行われましたが、会合は非常に質素なものでした。あまり華美に形式ばっていると途中でくたびれてしまうし、質素であったから95年もロータリーが続いたと言っておられました。

毎朝ロータリーソングを歌い心をなごませた後点鐘し、黙想となります。普通、黙想と言いますと一分間なされますが、なぜ20秒間かと申しますと人間の心理から、例えば最初の30秒は黙想に集中しますが残りの30秒を他の事に惑わされるので20秒が効率的ということです。宗教とは関係なく、20秒心を静め、その後効率良く会議に臨む、そういった意味のもと8日間踏襲させて頂きました。

又、本日私が着ております紺色のジャケットですが、この色はRI指定で虹の色を毎年順番に使っていくので昨年度はグリーン、今年度はネイビーブルーとなったわけです。

さて、今年度RIレイシー会長のテーマは「ロータリーの夢を追い続けよう」であり、昨年度のキンロス

会員増強はロータリーの友「8月号」を御覧になりましても、ロータリーが永続的に繁栄して行くためには「量より質」であることが求められており、無理せず真のロータリアンを確保すべきであろうというわけでありますから、現下の社会状況のもとでは、真のロータリアンを確保するためには、いささか、時間がかかる。このあたりを、危惧しているわけでございます。

交換留学生の件につきましても、会員家族の成長に伴い高齢化してきており、言葉の問題や生活習慣の違いは左程問題ではないという側面はあるかと存じますが、やはり、傍目に妻が難儀をすることを強いるのもなかなか気が引けるのであります。こちら辺が、アメリカ等の欧米諸国と我が国との風土の違いか、国際化と言われて久しいけれども、依然としてあるように思います。

然しながら、来るべき21世紀を担って行くことになる青少年に夢と希望をもたせ、広く国際社会でも活躍できるよう手助けすることは、私たち大人の責務であろうと考えます。

どうか、今後とも、皆様とともに、ロータリアンとして、手に手を携えて頑張って参りたいと存じておりますので、よろしくお願い申し上げます。

名古屋千種RC吉田(節)会長挨拶



本日のガバナー公式訪問日に際しまして、内藤ガバナーをはじめ上村分区代理、鶴飼副幹事にはご多忙のところおいで頂き大変有り難く心から歓迎申し上げる次第でございます。そして名東RC

Cの皆様にはわざわざ当例会場まで御足労いただきましての合同例会でございますが何かと不行き届きの点があるかと思いますが、どうかロータリーの友情でもって御容赦を、お願い致します。

去る9月1日の上村分区代理の訪問では大変有意義な御指導をいただき本当に有難うございました、後れ馳せながら厚く御礼申し上げます。

本日はまた先ほどまで内藤ガバナーとの懇談会で色々ご指導を頂きそしてこの後又卓話をいただく予定となっておりますが、さぞかしクラブのため有意義な指針を戴けるものと期待して居る次第であります。又一昨日私ども千種RCの国際奉仕、社会奉仕、青少年活動の共同主催による南京市人民中学と名古屋短大付属高校とのバスケットの交流試合、お陰を持ちまして、所期の目的でありました日中友好の輪を広げおおいに国際親善を深める事ができ、成功裡に終わる事が出来ました事を報告し、両校に対し惜しめない応援を戴きました皆様に厚く御礼申し上げますが大変簡単でございますがこれをもって挨拶とさせていただきます。

会長の「ロータリーの心を」と共に非常に抽象的なお言葉ですが、過去50年間のR I会長テーマも皆抽象的でした。あとはその趣旨に対しガバナーが方向性をつけて実際の活動母体である各ロータリーに任せるということのようにです。今年度のテーマのドリームというオブゼクションを各ロータリーで考えて頂く意味で私は「ユイズムを広めよう」「新世代に光を照らそう」「奉仕の実感を共有しよう」の3つを考えました。これは1つの参考テーマですが各ロータリーの会長さんにはドリームを持ってやって頂ければ幸いですと思っております。

ロータリーは95年前、ポール・ハリスさんによって創られ、その当時アメリカは大不況でしたが厳しい世の中であってロータリーの活動をする事により自分の生きがいを感じようとやられたようです。異業種の人と会食しながらその時間を使って社会奉仕などの活動を一緒にする。宗教は個人的なものです、集団で親睦を図り、社会に奉仕、ボランティアすると考えればロータリーの意義もあります。

今の日本は、政治、金融、実業界と無責任時代にあります。これは戦後の〇×教育、デジタル教育にあるのではないかと思います。選挙にしても票だけ集めればいい。本筋は二の次で票さえとって上へのぼればいいと短絡していて実際の権力者となると義務や責任は

取りません。

21世紀の日本が少しでも良くなるようにサディクションして自分から精神革命を起こし、新世代に光を照らし次の子孫にもいい日本を築いて頂けるようロータリー活動にも積極的に参加していきたいと思っております

クラブ懇談会

16:40~17:10 橋の間

内藤ガバナー、上村東名古屋分区分代理、鶴飼地区副幹事ご出席のもと、会長・幹事・副会長・会長エレクト・副幹事・四大奉仕委員長・青少年活動委員長による懇談会が開催されました。



内藤ガバナーを囲んで

◆次回例会(10月20日)

秋季家族会 御園座にて歌舞伎観劇 3時15分より

日中高校生親善交歓会

平成10年10月4日(日) 晴

試合会場:愛知厚生年金会館、体育館
懇親会会場:愛知厚生年金会館、鳳凰の間

バスケットボール親善試合

10:00 開会宣言 会長 吉田 節美
ペナント交換

10:15 試合開始
11:20 試合終了
11:25 閉会挨拶

南京市人民中学校選手団紹介

南京市人民中学校長 馬效光 通訳 朱 明
南京市教員公室調査主任 王伶俐 南京市玄武区教委副主任 紀 勤
南京市人民中学校総務主任 徐 軍 南京市人民中学年級組長 許成彬
教練 曹学紅
選手
張曉燕 楊 波 范文俊 王麗娟 高 星
梁 莹 楊文君 戴 穎 劉 潔 王 媛

12:00 選手団入場
来賓紹介

第2760地区幹事 岩間 俊夫
米山奨学生 李 敏華
青少年交換学生 アナ・パウラ
" 伊藤 正美
" 日比野修子
" 浅見 祐佳

名古屋短期大学付属高等学校選手団紹介

監督 井上 真一
コーチ 金 聖徳

選手
藤村 茜 高田貴美子 春日 里香 唐沢 貴代
大野 真弓 有我 望 立花奈津子 鈴木衣里那
山崎 恭子 渡辺 由夏 米田 早智 徳守 歩
齋藤 尚美 石堀 里美 森元 愛弥 滝 奈央
滝 美央 副島 昂 前田 知美 大神 雄子
田淵明日香 重田 麻希 立花真岐子

審判紹介 安藤 憲彦 豊永 秀行

インターアクトクラブ会員 11名
ロータリークラブ会員 31名
家族その他 31名

歓迎挨拶・記念品贈呈 会長 吉田 節美
南京市人民中学高等部代表 張曉燕選手挨拶
名古屋短期大学付属高等学校代表 藤村茜選手挨拶
インターアクトクラブ代表 伊藤 正美さん挨拶
乾 杯 馬南京市人民中学校長

(敬称略)

国際奉仕・社会奉仕・青少年活動委員会合同にて開催されたこの催しは総勢120名の参加の中、今年インターハイ準優勝の名短付高に挑んだ南京市人民中学高等部は好プレーをみせたものの78対54とした。



試合終了後、両国の選手の健闘を称え参加者全員で記念撮影



白熱したプレーにスタンドでの応援にも大歓声上がる



懇親会では、日中間の言葉の壁も飛び越え、ジェスチャーを交えながらの会話にお互いの交流を深め、最後は全員で輪になり“手に手つないで”を大合唱し親善交歓会は幕を閉じました。

中部経済新聞より 10月6日

日中の女子高校生が親善バスケット試合
名古屋千種RC

「頑張れ！ よしいけっ」「ちゃーゆう（加油）！ はおちゆう（好球）。四日の日曜日、名古屋市千種区の愛知厚生年金会館体育館で日中両国の力のこもった掛け声が飛び交う中、日本と中国の女子高校生の親善バスケットボール試合が行われた。

名古屋千種ロータリークラブ（吉田節美会長）が国際奉仕・社会奉仕・青少年活動の三委員会の合同事業として開催したもので、対戦したのは南京市人民中学高等部と桜花学園・名古屋短期大学付属高校のバスケットボール部。

桜花学園では、平成五年から南京市の教職員との国際交流を行ってきており、今回は学園創立九十五周年を記念して南京市人民中学高等部バスケットボール部員を招待。これに名古屋千種RCが名古屋市・南京市友好提携二十周年記念事業の一環として親善試合を主催したもの。

吉田会長の「はるばる中国から来てくれた選手の皆さんを心から歓迎します。試合を通じて日中交流の促進に努めていただきたい」とのあいさつに続いて熱戦を展開した後、インターアクトクラブのメンバーも交えて約一時間にわたる懇親会を催し、身振り手まねで話し合い、交流を深めた。

中国側を代表して馬效光校長は「選手を連れて来たのは初めてだが、両国の選手たちはいち早く解け合って交流を深めており、意義ある交流だと思う。今後もこうした両国の交流促進を図っていきたい」と言っていた。

また、国際ロータリー第2760地区の岩間俊夫幹事も「内藤

明人ガバナーの提唱している「青少年の健全育成」に大きく貢献する事業であると同時に、中国にもロータリークラブができた（香港のロータリークラブ）時代でもあり、こうした機会を契機に両国の交流が促進されることに期待している」としている。

中日新聞より 10月5日

名短付高 創立95周年に華

名古屋市と中国・南京市の友好提携二十周年を記念した「日中バスケット親善試合」が四日、名古屋市千種区の愛知厚生年金会館体育館であった。

青少年の育成と国際交流に力を入れている名古屋千種ロータリークラブ（吉田節美会長）の主催で、名古屋市昭和区の名古屋短期大学付属高と南京市人民中学高等部の間で行われた。

両校は、六年前から教職員や生徒たちによる書画や手芸品などの文化交流を続けている。親善試合は、名短付高を運営する桜花学園（大谷和雄理事長）の創立九十五周年記念として、三日に第1戦が行われており、名短付高が48点差をつけて勝っている。

この日の第2戦は、両チームともスピード感あふれるプレーを連発し、白熱した試合となったが、今年のインターハイ準優勝の名短付高が、78-54で制した。

終了後は、両チームの選手が、お互いに肩をたたいて健闘をたたえ、スタンドの生徒や父母、教員らからも温かい拍手が送られていた。